

前橋市立図書館新本館基本構想（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和4年3月16日（水）から4月13日（水）まで

2 意見提出者及び意見数

- ・意見提出者数：26人
- ・意見提出件数：51件

3 意見及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続き実施要綱に基づき、いただいたご意見に対する市の考え方を公表します。今回いただいたご意見を参考に、前橋市立図書館新本館基本構想を作成させていただきます。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

（1）設備

No.	意見の概要	市の考え方
1	図書館前広場に埴輪と古墳をモチーフにした子ども向けの遊び場(馬のはにわに乘れたりする遊具やできればメリーゴーランド)をつくって欲しいです！！	新本館の運営方法や整備、設計については、令和4年度に作成する基本計画をもとに検討します。市民の皆様が通いたくなるような施設を目指します。
2	武雄市図書館の様な明るく開放感のあるみんなが集える図書館にしてください。 https://takeo.city-library.jp/	新本館では基本構想（案）の中でお示ししたとおり、ユニバーサルデザインに対応した、居心地が良く利用者が安心して使えるリビングのような場となることを目指しています。設計については、令和4年度に作成する基本計画をもとに検討していきます。
3	現状もそうですが、市内中心地に近いと車での利用がしづらいです。高齢者の利用も考慮して十分な広さや入退場がしやすい駐車場を用意	新本館は、文化の入口である図書館を通して新しい人の流れを作り、文化教育都市としての前橋がさらに活性化することを見込んで中心市街地に移

	する必要もあると考えると中心市街地に限定することは再考の余地があるかもしれません。	転します。ユニバーサルデザインに対応した使いやすい施設を目指しますので、ご理解をいただきたいと思います。
4	今の市立図書館は落ちつける場所と、内装が大好きです。あのクラシックな良さを引ついで頂けたらうれしいです。	新本館の内装については、令和5年度以降に検討していきます。
5	子供を遊ばせ(本を読ませながら)、子供も見ながら、大人も自習や読書ができるスペースがあるとうれしいです。(子供のスペースに、大人用の机やイスなど)。	利用者のニーズにお応えできるよう、新本館の設備、機能については令和4年度に作成する基本計画をもとに検討していきます。
6	本をよごさない場所に café スペースがあるとうれしいです(ロンドンの British Library のような)。	
7	深い緑の植栽を目にしつつ、「ケーキ」と「コーヒー」を味わい読書の合間に癒し時間を楽しめるスペースを設置していただきたい。深い緑の植栽例として、今の市立図書館中庭の「竹材」は素晴らしいです。	
8	報告案にも若干の記述が見られるが、中心街に設置されることから安らぎや語らいの場等落ち着いた「カフェ」の設置が期待される。	
9	子どもが小さい頃は、おむつ替えシートや子供用のトイレの設置があると安心して図書館に行けます。また、一緒に本を読んだりするのに、図書館では静かにしなければならないので、一般の場所とは離れたスペースに、親子で本を見たり、話したりできる場所があるといいと思	

	<p>います。</p> <p>調べ物や学習をするのに、飲食や軽食がとれるスペースも欲しいです。</p>	
10	<p>子ども向けの本は、子どもがとりやすく読みやすい今のこども図書館のレイアウトの良さを引きついで頂きたい。</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたとおり、こども図書館は新本館と一体となって運営していく予定です。そのため、誰もが使いやすい施設となるよう、新本館ではユニバーサルデザインを取り入れた設備や機能を導入します。</p>
11	<p>トイレ、エレベーターをバリアフリーにしてほしい。点字ブロックをつけてほしい。</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたとおり、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた設備や機能を導入します。</p>
12	<p>ボランティアの居場所が重要と考える。ボランティア同士の触れ合いや意見交換の場ともなり、活動の活性化の重要な場所となると考える。</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたとおり、図書館運営サポーターは図書館の地域連携事業の1つの柱であると考えております。活動の拠点となる場所については、今後の基本計画でも検討してまいります。</p>
13	<p>子どもでも手が届きやすい高さの本棚にして欲しい。</p> <p>駐車場の図書館利用者専用スペースが自動車50台以上欲しい。</p> <p>紫外線による本の劣化を防ぐため、窓に紫外線カット加工をして欲しい。</p>	<p>設備については令和4年度に作成する基本計画をもとに検討しますが、ユニバーサルデザインを取り入れた駐車場をはじめ、本棚の高さや遮光など、図書館としての使い勝手の良さや、所蔵品を良好な状態で後世に引き継ぐという図書館としての基本的な役割を果たすことができる施設づくりを目指します。</p>
14	<p>図書館新本館 本構想で進めてください。図書館構想策定プロジェクト及びワーキンググループで各般の論議がなされている。本館は機能性、情報化対応を備えた「シンプル」な建物で良い。また貴重な収蔵</p>	<p>新本館の設備、機能につきましては今年度以降に検討しますが、公立図書館としての機能充実を図るとともに、施設の長寿命化にも配慮して維持管理や修繕に係る費用の抑制に努めます。なお、基本構想（案）の策定に先立つ</p>

	<p>品の重みに配慮を。付帯設備としての{憩いの場所}の機能は最小限で。(e x コンビニのコーヒー販売)軽飲食提供は、いずれ「撤退」。これは過去の図書館の歴史。</p>	<p>て実施した市民アンケートでは、ゆったりとくつろげる場所の設置を希望するご意見が多く寄せられたことから、ユニバーサルデザインに配慮した居心地の良いリビングのような空間づくりも目指していきます。</p>
15	<p>本を収蔵し、市民が読書・学習のために利用することを第一にして欲しい。</p> <p>別室を作り、そこを談話室や飲食スペースにして欲しい。柔らかに明るく静かな空間を基本的な状態にし、会話を控えるべきだという図書館の基礎を守って欲しい。</p> <p>本棚の高さは180cm以下が良い。</p> <p>天窗や全面ガラス張りの窓は作るべきではない。太陽光による紫外線などが原因の資料の劣化を後押しするような建物にしてはいけない。</p> <p>貴重な資料の貯蔵庫であることを関係政治家、関係建築家の方の胸に強く刻んで頂くことを望む。</p>	<p>設備については令和4年度に作成する基本計画をもとに検討しますが、利用者の様々なニーズにお応えできるよう、静かな空間と音読や談話ができる空間を分けて整備したいと考えています。同時に本棚の高さや遮光など、図書館としての使い勝手の良さや、所蔵品を良好な状態で後世に引き継ぐという図書館としての基本的な役割を果たすことができる施設づくりを目指します。</p>
16	<p>中心部にできるならオシャレで楽しい時を過ごせる所。ゆっくり読書でき、交流もでき、イベントにも出やすく館内は採光を多く入れて明るく。</p> <p>高齢者は時間を図書館で過ごすことが多い。交流の場を作る。若い人に便利な時間を。</p>	<p>基本構想(案)でお示したように、新本館は人と人、人と本との交流ができる、居心地が良い場となることを目指しています。設計については、令和4年度に作成する基本計画をもとに、今後検討をしていく予定です。</p>
17	<p>カフェスペースは作るべきではない。</p>	<p>基本構想(案)の作成に先立って実施した市民アンケートでは、ゆったりとくつろげる場所の設置を希望するご意見が多く寄せられました。そのた</p>

		め、居心地の良い空間についての設置を検討する必要性を感じています。
18	<p>基本方針 3・4 に関して、館内設計の考え方について。</p> <p>見た目重視の機能的でない設計、例えば直射日光がさしこむガラス張りのフロアに書架を並べたり、閲覧室を置いたりする設計には反対です。資料を劣化させず大切に扱い、適切な明るさで利用者にも優しい、そんな図書館であってほしいです。</p> <p>また、構想に盛り込まれている、バリアフリーで災害に強く、防犯の観点からも安全な図書館であること、多世代・多様な人々の利用に対応できる図書館を目指すことに賛成です。図書館員の目がフロアに行き届き、窃盗や痴漢など、事件事故を未然に防ぐことができる、誰もが安心して利用できる館内にしてほしいと思います。</p> <p>構想にある通り、静謐な空間と、会話ができ交流が生まれる賑やかな空間とが、共存する図書館であってほしいです。利用者が目的に応じて居心地の良い空間を選べ、利用者同士が衝突することがないとよいと思います。大人と子どもを区別せず、生まれてから継続して、年齢を重ねても通い続けられる図書館であってほしいです。</p>	<p>設備については令和 4 年度に作成する基本計画をもとに検討しますが、利用者の様々なニーズにお応えできるよう、静かな空間と音読や談話ができる空間を分けて整備したいと考えています。同時に本棚の高さや遮光など、図書館としての使い勝手の良さや、所蔵品を良好な状態で後世に引き継ぐという図書館としての基本的な役割を果たすことができる施設づくりを目指します。</p>
19	<p>以下を要望いたします。</p> <p>① 建物は現図書館のようにレンガ造りで重厚なものとして前橋らし</p>	<p>新本館の運営方法や整備、設計については、令和 4 年度に作成する基本計画をもとに検討します。市民の皆様が通</p>

	<p>さをお願いいたします。</p> <p>②図書館とともに博物館的な機能も併せていただきたいと思います。</p> <p>③萩原朔太郎など前橋市にゆかりのある文学者を集めた館を併設してはと思います。</p>	<p>いたくなるような施設を目指して、考えていきます。</p>
20	<p>移転先について： 中心市街地にあることのメリットを基本構想にある通り、新本館の移転先である前橋中心市街地は、商店街やオフィスが集積する場所であり、官民協働の再開発などが進むエリアであります。加えて、前橋こども図書館、前橋文学館やアーツ前橋、前橋シネマハウス、群馬県立図書館などの文化施設が集積した地区でもあります。それらの施設や商業地と連携を図った企画の推進や、多様な人々が交流できる場の創設等、にぎわいや文化の創造につながる集積の効果が出るような仕掛けが必要と考えます。また、単に前橋市立図書館という名称だけではなく、公募などにより愛称を募集し、親しみやすい存在としての取組も必要と考えます。</p> <p>さらに、中心市街地にあることを鑑み、開館時間や閉館日の関係で、「建物が閉まっている」というイメージや閉塞感のある建物とならないデザイン、雑貨といった物販やカフェなどの機能付けが必要と考えます。また、中心市街地内の回遊性が向上する中心市街地内との有機的につ</p>	<p>新本館の運営方法や整備、設計については、令和4年度に作成する基本計画をもとに検討します。</p> <p>新本館は、文化の入口である図書館を通して新しい人の流れを作り、文化教育都市としての前橋がさらに活性化することを見込んで中心市街地に移転します。ユニバーサルデザインに対応した使いやすく市民の皆様が通いたくなるような施設を目指します。</p>

	<p>ながる建物デザイン・レイアウトの検討や防犯面にも寄与できる他とは違うと思わせる工夫も必要と考えます。加えて、中心市街地のまちづくりに関して「前橋市アーバンデザイン」が策定され、前橋商工会議所が提案する「Green&Relax 構想」があるなか、新本館の敷地内に緑を多く配置し、公園のような癒しのある空間として時間を過ごせる工夫も必要と考えます。</p> <p>このように、中心市街地にあるランドマーク的な建物・機能となるように、周囲の施設などとの連携や柔軟な営業時間により気軽に利用できる場としての工夫を図り、子どもたちに「前橋の自慢できる場所はどこ？」と聞いて「ここ！」と言ってもらえる場の創造、前橋市民としての誇りの場として機能して欲しいと考えます。</p>	
21	<p>図書館の建築デザインについて： 長く使われる建物を 近年、全国各地で図書館の新築・改築が増えておりますが、有名建築家によるデザイン重視の設計が見られます。一時的にメディアなどに取り上げられ注目はされます。もちろん利用する方々の快適な空間などの演出、デザイン性は必要ではありますが、図書館を利用するのは市民であり地元の方々です。子供から大人まで利用する場所であり、各年齢層や利用者の要望に対応した利便</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたとおり、ユニバーサルデザインに対応し、広く市民に開かれた、多様な人が交流できる出会いの場となることを目指します。</p> <p>さらに、公立図書館としての機能充実に努めるとともに、施設の長寿命化にも配慮して維持管理や修繕に係る費用の抑制に努めます。</p>

	<p>性重視(バリアフリー・静かな空間・コミュニケーションが生まれる空間等)の設計になる事を望みます。</p> <p>また、今後長期使用するので、維持修繕費(メンテナンス費)の低減できる設備の導入や時代の変化に対応できるようにしていただきたいと考えます。</p>	
22	<p>開架図書について</p> <p>市民向け図書館に求められる第一の条件は、圧倒的な量の開架配本である。背表紙のタイトルを眺めつつジャンル総覧的に物色し、立ち読みで内容を確認しながら求める本を絞り込んでいくアナログアクセスは、図書館において最も重視されるべき機能である。</p> <p>そのため、以下の各項目を要望する。</p> <p>閉架書庫への所蔵は希少本など必要なものとどめ、一般図書は開架図書室への配本を原則とすること。</p> <p>関連する図書をシームレスに閲覧できるように、開架図書室をなるべく一カ所に集約し、単行本と新書、文庫、大型図書等が一カ所で閲覧できるようにすること(子ども図書、郷土図書、オーディオビジュアル等は例外)。建物の構造上、階層をまたぐ必要がある場合も、フロア内の階段等で本を持ったまま自由に行き来できるようにすること。</p> <p>書棚の近くに適宜いす等を配置し、本を閲覧室まで持ち出さなくても</p>	<p>新本館の運営方法や整備、設計については、令和4年度に作成する基本計画をもとに検討します。</p> <p>多様な人が利用できる資料を収集することは図書館の大切な使命です。本棚の高さや開架図書室の使い勝手の良さなど、図書館としての基本的な役割を果たすことができる施設づくりを目指します。</p>

	<p>書棚近くで内容の確認ができるようにすること。</p> <p>書棚の高さは、成人の男女が踏み台を使わずに手に取れる程度にとどめること（この場合、天井高が低くなくても差し支えない）。</p>	
23	<p>建築・施設について</p> <p>公立図書館の建築については近年、意匠を重視するあまりに「高すぎる書棚」や「(本を傷める) 日当たりの良い書架」など従来の図書館建築でタブーとされてきた構造が採用されるケースもあり、専門家等からの批判の的となっている。建築やデザインを採用するに当たっては、本こそが図書館の主役であるとの視点に立ち返り、図書館の機能を最大化する設計とすることを求める。</p> <p>また、今後、カフェ等の併設も検討されることと思うが、あくまで図書館の附属施設であることから、単なる憩いの場にとどまることなく、本との出会いや利用者同士の知的交流に資するものとするを要望する。</p>	<p>設備については令和4年度に作成する基本計画をもとに検討しますが、本棚の高さや遮光など、図書館としての使い勝手の良さや、所蔵品を良好な状態で後世に引き継ぐという図書館としての基本的な役割を果たすことができる施設づくりを目指します。</p>

(2) 運営

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>夕方、夜まで利用可能な学習室の設置を希望します。東京都内などでは20時まで利用が可能です。</p>	<p>新本館の運営方法や整備、設計については、令和4年度に作成する基本計画をもとに検討します。利用時間の延長などサービスの向上につきましては、費用対効果を踏まえて導入について考えていきます。</p>

2	<p>“図書館の自由に関する宣言”に基づいて運営して欲しい。</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたとおり、新本館のビジョンは、「図書館の自由に関する宣言」の考え方も参考にしており、引き続き同宣言にのっとって図書館を運営していきます。</p>
3	<p>市民の財産を護るために司書を余裕を持って雇って欲しい。</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたとおり、職員の専門力の育成・強化に努めるとともに、司書、学芸員、社会教育主事など社会教育に携わる専門職員が文化の仲介役として図書館の専門サービスを支える体制づくりを目指します。</p>
4	<p>群馬、前橋市の様子が分かるコーナーを常設してほしい（シビックプライド）</p>	<p>長年紡がれてきた前橋の歴史や文化を再発見していただけるよう、市立図書館が100余年に渡り収集してきた貴重な郷土資料の活用を図ってまいります。</p>
5	<p>渋川市のように読書通帳を導入してほしい。（手書きではなく印字されるもの）子どもがどんな本を読んだか記録できたら読み聞かせの楽しみが増える。</p>	<p>新本館で実施するサービスについては、費用対効果をふまえて、導入について考えていきます。</p>
6	<p>図書館とは、本を通して市民の「知りたい」「学びたい」「つながりたい」「安心して過ごしたい」に応える館である。</p> <p>総花的で上っ面なサービスにならないよう、上記の機能を「誰に・どこまで」提供するかを決め、人材／運営体制／設備／予算を具体的に検討する。</p> <p>最も大切なのは、箱ではなく人材と運営体制です。</p> <p>従来の職員や司書をどのように変革</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたビジョンと4つの基本方針を具現化するためには、司書としての従来の専門性に加えて、相応の企画開発力、調整力、交渉力、課題解決力等を有する職員の育成が必要です。</p> <p>近年、本市の社会教育関連分野においては、所属や施設の垣根を越えた取組や事業が展開されていることから、社会教育3職種（司書、学芸員、社会教育主事）に公民館、美術、文学、文化財などの担当所属で多様な業務</p>

	<p>して行くかも同時に考えて、予算を組み立てる必要があります。</p> <p>学校図書館の役割、公民館の役割を再定義して、隙間や、漏れ、重複が無いよう整合させ、中央図書館として必要な機能に特化してください。</p> <p>運営についても民間の資本を入れて独自の財源を確保して、市の財政に大きく左右されない形を模索し、提供するサービスを評価して、アカウントビリティを高めてください。</p>	<p>を経験させ、視野を広げていくことが、初期段階における人材育成の有効な手段であると考えています。</p> <p>第二段階では、職員が社会教育行政を幅広く経験する中で得た知見と人脈を活かして、配属先での課題解決や学校を含む他所属との連携強化を図る中で、施設ごとの役割を俯瞰的な視点で整理していくことが、社会教育分野全般において総花的な事業運営に陥る事象を避けるために必要であると考えます。</p> <p>また、教育委員会が所管する業務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、外部委員による事業の点検・評価を毎年受けて結果を公表しています。市民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会全体で引き続き真摯に取り組んでいきます。</p>
7	<p>「対話による多様な学びがある知のひろば」というビジョンと4つの基本方針から、「行政と市民が一体となって成長し続けていく図書館」という印象を受けました。新館が完成した後も、図書館が市民の意見を募集し、それを受けて改善し続ける仕組み(目安箱のような、市民が図書館を評価したり気軽にコメントを送ったりできるような仕組み、継続的な利用者アンケートの実施と結果の公表など)が整備されているとよいと考えます。</p> <p>様々な市民の意見を取り入れて、新</p>	<p>時代の変化や人々のニーズに合わせて運営方法やサービスを進化させていくための取組の一環として、市民の皆様の声が届く仕組みの構築と、図書館からの情報発信力強化という双方向性の体制づくりが有効です。具体的な取り組みにつきましては、令和4年度に作成する基本計画をもとに検討します。</p>

	本館がより良いものとなるよう期待しております。	
8	高崎図書館のように、駐車場があって、予約ができて、自動書庫があって、使いやすい図書館にして欲しいです。	新本館の運営方法や整備、設計については、令和4年度に作成する基本計画をもとに検討します。サービスの向上につきましては、費用対効果を踏まえて考えていきます。
9	前橋駅で予約した本の受け取り、返却ができるようにしてください。	
10	図書館利用活性化のための老人の活用です。自分を含めてですが、図書のような活字文化には老人は慣れ親しんでおります。ですから、「図書館サポーター」を始めいろいろな活動、協力、普及のため、現在よりも積極にご活用願えればと考えます。	基本構想（案）でお示ししたとおり、図書館運営サポーターは図書館の地域連携事業の1つの柱であると考えております。積極的に活動の場を広げていきます。
11	基本方針1・2について。 生涯学習の拠点として、図書館員の専門性を活かした幅広い選書を継続し、分館とは異なる本館ならではの蔵書をより一層充実させてほしいと考えます。また、近隣公共図書館との連携を図る上で、定期休館日を県立図書館と被らないようにしてほしいです。近い立地にある図書館が同日に休館していると、利用者は情報収集のために頼る場所を失ってしまいます。	多様な人が利用できる資料を収集することは図書館の大切な使命です。新本館での資料整備につきましては、今年度以降に検討していきます。また、県立図書館との連携や役割分担につきましては、現在進めている県との協議の中で意見交換を行うとともに、市民の皆様のご意見を参考にしたうえで、令和4年度に作成する基本計画の中で方針をお示しします。
12	基本構想を拝読し、総合的に、とても納得できるものでした。たとえば文化の継承のところでは、文書だけでなく、もっと市民に肌で感じてもらうイベントなどの企画は図書館としては、できないものでしょうか？ 作家を呼んでの講演やワークショップ	基本構想（案）でお示ししたとおり、講演会やワークショップ、展示など専門職が連携して行うイベントを通して、楽しみながら知的好奇心を刺激する機会をつくります。

	<p>もいいと思いますし、今までの図書館の役割にプラスして、市民が参加してみたいと思うような仕掛けもあるといいと感じます。</p>	
13	<p>新図書館は、育児世代の憩いの場になり、講座なども開催できる貸出教室も設置していただき、子どもを預けて学べる教室、子どもと一緒に学べる教室、プログラミングなどを子育て世代も学べる場所や学びの機会があるといいなと思います。Wi-Fi ももちろん完備で。</p> <p>前橋市民限定のサービスもあるといいです。期待しています！</p>	<p>新本館があらゆる世代の人々が集い、知的好奇心を刺激する場となるよう、質の高い展示や講座を企画していきます。</p>
14	<p>図書館機能に関して： 地域の知の拠点として充実を</p> <p>本館の移転を契機に、本来の図書館機能を活かした「地域の知の拠点」としての充実が必要と考えます。しかしながら、掲げられているビジョンと4つの基本方針について、その進捗がどのような方法で評価されるかが、現時点では明記されていない点は懸念されるところです。</p> <p>図書サービス面の課題において貸出数・利用者数・来館数について触れられていますが、これらの定量的評価を改善していくことと、このビジョン・基本方針は相容れないところがあると考えられます。定量的評価が主になればこれを改善させるために本来、図書館は知識・情報活用の支援の場であり、生涯の学習の拠点であるべきなのに、市民のニーズに応え</p>	<p>新本館は公立図書館としての機能充実と、新しい人の流れをつくることを求められている施設ですので、両者のバランスに配慮して図書館の機能を整えていきます。</p> <p>資料の収集については、「前橋市立図書館資料収集方針及び選定基準」に基づき、全ての分野にわたって、入門的なものから専門的なものまで収集し、市民の学びの要求に応えるよう努めています。また、新本館は地域とともに発展する創造の場を目指していきます。</p>

	<p>ていくこと（新刊や人気作家のベストセラーの複本化などを行うなど）に安易に走りがちとなります。これは公共部門が市場部門を侵す側面もあります。そこで、まずは図書館本来の機能である、資料の収集・保存を充実させて、「地域の知の拠点」として収蔵された知識や情報が活用しやすい環境を整えることで、市民の学習や教育を支援する場としての充実が必要と考えます。今回の基本構想に明記されているとおり、地域とともに発展する創造の場としての図書館になることを期待します。</p>	
15	<p>コミュニティスクールである桃井小学校から直接行けるように併設されているといいと思いました。小さい頃から図書館に通う習慣があると、大人になっても立ち寄る傾向があります。まずは地域の子どもたちが行きやすい、授業でも活用しやすい場所にあること、そして、学童期に合わせて、授業の計画に合わせて本準備がなされるとよりいいと思いました。また、高齢者も立ち寄りやすくすることで、子どもも高齢者も自然と関われる機会が作ればよりよいと思いました。地域の図書館である必要があると思います。</p>	<p>新本館の運営方法や整備、設計については、令和4年度に作成する基本計画をもとに検討します。</p> <p>多様な人が利用できる資料を収集することは図書館の大切な使命です。基本構想（案）でお示ししたとおり、学校図書館と連携し、図書を通じた教育支援を実施するとともに、多様な学び、知力を支えられるよう、学び続ける機会を生むための仕組みを目指しますので、ご理解をいただきたいと思います。</p>
16	<p>図書館スタッフについては近年、全国各地の自治体図書館で、経費節減のため司書資格を持たないアルバイト等への切り替えが進み、図書館機能の低下が懸念されている。</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたとおり、職員の専門力の育成・強化に努めるとともに、司書、学芸員、社会教育主事など社会教育に携わる専門職員が、文化の仲介役として図書館の専</p>

	<p>そこで、図書館スタッフについては原則として司書資格者とするとともに、館長についてもそれに準じる知識と見識を持つ者を選任することが望ましいと考える。</p> <p>また本庁や市教委事務局から配置される一般職員についても、それらの資格を有する者を優先し、そうでない場合でも図書館職員としての一定の専門的な研修を行うべきである</p>	<p>門サービスを支える体制づくりを目指していきます。</p>
17	<p>「ビジネス支援サービス」等の機能について</p> <p>近年、公立図書館の役割については、住民に対する教養知識や娯楽の提供のみならず、地域の発展に直接繋がる「ビジネス支援」「文化支援」など実利的サービス機能を重視する考え方が新潮流となっている。世界的にはニューヨークやサンフランシスコの公共図書館等の取組が有名であるが、国内でも2000年にはビジネス支援図書館推進協議会が設立され、その後、中小企業庁や経産省・文科省等によって、ビジネス支援図書館を整備する考え方が示されている。公共図書館では、秋田、鳥取、高知、宮崎などの県立図書館や、岐阜、立川、静岡、川崎などの市立図書館でも、ビジネス支援を前面に打ち出している。</p> <p>また、「2010年代に国内で最も成功したまちづくり施設」とも言われる岩手県紫波町オガールプロジェクトの中心施設である紫波町図書館は、「農業支援」への特化を打ち出して注目</p>	<p>「前橋市立図書館資料収集方針及び選定基準」に基づき、全ての分野にわたって、入門的なものから専門的なものまで収集しています。その方針をふまえ、基本構想（案）でお示ししたとおり、ビジネスや暮らしに役立つ情報や資料を提供するとともに、多様な学び、知力を支える取組を行えるよう考えていきます。</p>

	<p>を集めた。本市も、群馬イノベーションアワード等の開催地となっており、企業支援などの取組に力を入れてきたところであるから、新図書館においてもビジネス支援サービスを一つの目玉として取り入れていくことを提案したい。</p>	
--	---	--

(3) 資料

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>あらゆる資料を収集し、すべての人々に開かれた場所としての図書館の存続を求める。</p> <p>学ぶため、世界の美しさを知るため、生きるため、人は本を読んできた。本は、人類が何千年も蓄積してきた知の結晶だ。多様化したメディアがどれだけ隆盛しようとなお、かけがえない存在であり、人は本を開き続けるだろう。</p> <p>経済が発達した現代、私達は本が欲しいと思ったとき、簡単に入手できる。一方で、出版と流通は大量生産・大量消費を前提に成り立っている。印刷され、店頭には並べられながら、誰にも手を取られなかった本が廃棄される、いびつな現状がある。本を読むために、私達は未来の地球を抵当に入れている。</p> <p>変化の時代にあって、本とのつきあい方も見つめ直す必要があるのではないか。そして、この点において、図書館の果たす役割は今後、増していくのではないかと考える。あらゆる</p>	<p>基本構想(案)でお示ししたとおり、図書館法にのっとり引き続き幅広く資料を収集するとともに、あらゆる市民の知への要求に応えるために、資料を活用して前橋の文化を支えるという当館開館時からの役割を果たしていきます。</p>

	<p>書籍を収集し、すべての人々に広く提供する場所として。</p> <p>新しく生まれ変わる図書館が本を集め、読むための場所であり続けること、篤実であることを強く願う。</p>	
2	<p>貴重な所蔵はデジタル化で閲覧しやすくして欲しい。</p>	<p>基本構想（案）でお示ししたとおり、郷土資料や美術品など貴重資料の研究とアーカイブに継続して取り組んでいきます。</p>
3	<p>市民から無償で提供される蔵書を積極的に受け入れて下さい。不用品に出すのはもったいなく、公共のために少しでも役立つならばと思っています。以前受け入れを断られたため、再度検討をお願いします。</p> <p>もし、図書館として不用ならば、一端受け入れて戴き、図書館利用者に無償配布していただければいいと思っています。私見としては、無償で受け入れ、手数料として安価な値段で有償で提供し、それを図書購入費に当ててもいいのではないかとさえ思っています。ぜひ図書館が提供者と活用者を繋ぐ交流の場としての機能役割の大切さを強化して戴きたいと思っております。</p>	<p>寄贈については「前橋市立図書館資料収集方針及び選定基準」及び「前橋市立図書館寄贈申出資料取扱要領」に基づき受け入れを行っていきます。</p>
4	<p>劣化したCDの更新をお願いします。人気の高いものを長い間不良品のまま放置せず更新をお願いします。</p> <p>またCDその他の視聴覚品も、市民から無償提供を受け入れて欲しいと思います。近年は音楽機器媒体が変化し、無償提供して戴ける市民は多</p>	<p>CDの購入、除籍については「前橋市立図書館資料収集方針及び選定基準」及び「前橋市立図書館資料の除籍及び保存に関する基準」に基づき行っています。</p> <p>また、寄贈については「前橋市立図書館資料収集方針及び選定基準」及び「前橋市立図書館寄贈申出資料取扱</p>

	いかと思われます。図書購入費用の節約上からもぜひ検討願います。	要領」に基づき受入れを行っていません。
5	デイジーを豊富に揃えてほしい。	多様な人が利用できる資料を収集することは図書館の大切な使命です。新本館での資料整備につきましては、今年度以降に検討していきます。
6	<p>規模・蔵書数について</p> <p>隣接県の県庁所在地である宇都宮市、新潟市等の市立中央図書館と遜色ない機能が必要と考える。両市の図書館（分館等含む）の蔵書数は170万冊弱である。また、全国の貸出密度（住民一人当たり年間貸出件数）が高い自治体を見ると、人口段階30万人以上（平均41万人）の自治体では、市区立図書館の蔵書数は平均130万冊前後となっている。</p> <p>本市の図書館の蔵書数は、分館を含め98万冊、中央図書館のみでは32万冊にとどまっており、近県や全国に比べてもやや物足りないものである。</p> <p>また、「日本一の公共図書館」という高い評価を受けたこともある浦安市立中央図書館の蔵書数は66万冊であるが、人口は約16万人であり本市の半分程度にすぎない。</p> <p>同図書館で館長を務めた常世田良氏は「高度な情報提供をすとなると（分館型より）中央図書館方式の方がいい」「レベルが高い情報を集中的に発信するなら中心部に大きな図書館を作ることが妥当である」と話されている。</p>	<p>資料の収集については「前橋市立図書館資料収集方針及び選定基準」に基づき行っており、本館、こども図書館、分館及び停本所等において、それぞれの役割と機能に応じた蔵書構成に留意するとともに、前橋市立図書館全体の体系的な資料の充実を図っています。</p> <p>また、蔵書数だけでなく、住民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する資料を収集しています。</p>

	<p>これらの状況を勘案するに、本市の新しい中央図書館が他の県庁所在地に比べ遜色ない機能を持つためには、子ども図書を除く一般図書で、蔵書数 60 万～70 万冊を超える規模とすることが望ましいと考える。</p>	
7	<p>「無料貸本屋」批判に対応した適切な蔵書選定について</p> <p>近年、一部の図書館においてベストセラー等の人気書籍の大量配本が行われ、著作権者や出版界から「これでは図書館というより、無料貸本屋にすぎない。著作権料や出版社の売上を押し下げる民業圧迫であって、むしろ読書文化の衰退につながる」と、強い反発を受けてきた。</p> <p>大量配本については、図書館の事業評価にあたって「利用者数」や「貸出件数」が指標になることが多いことから、これらを手っ取り早く伸ばす安直な手法として、導入されてきた面が大きい。</p> <p>しかし、図書館の使命は市民に対し、多様な図書に接する機会を提供することである。書店に平積みされているベストセラー等は、書店で購入していただければ良いのであって、むしろ、それほどの売れ行きを望めず一般書店に並びにくい専門書等を、豊富に取りそろえらるべきであると考え</p> <p>る。</p> <p>以上の理由から、新図書館においては、ベストセラーの大量配本など小手先の人気取りに走ることを慎み、</p>	<p>資料の収集については「前橋市立図書館資料収集方針及び選定基準」に基づき、全ての分野にわたって、入門的なものから専門的なものまで収集しています。その収集にあたっては市民の要望や意見を尊重し、リクエストに積極的に応えることを基本としています。</p> <p>また、市民の要求に応える手段としてのみリクエストを取扱うのではなく、ニーズを把握する手だてとして活用し、資料充実に役立てています。</p>

	公共図書館の本旨に沿って多様な書籍の収蔵に努めるよう要望する。	
--	---------------------------------	--

(4) こども図書館

No.	意見の概要	市の考え方
1	こども図書館 利用者、保護者の意見尊重を 現状は機能している。改修は利用者、 保護者の意見尊重の姿勢が大事。	基本構想（案）でお示ししたとおり、 こども図書館と本館との一体的な運 用については、市民の皆様のご意見 を参考に、新本館の基本計画を定め る際に内容を検討していきます。
2	こども図書館は駐車場が不便。子ど もを連れてエレベーターで移動する のはちょっとたいへんそう。	基本構想（案）でお示ししたように、 誰もが使いやすい施設となるよう、 検討していきます。

(5) 県との機能統合

No.	意見の概要	市の考え方
1	県立図書館との機能統合も認識くだ さい。そして、その「コンセプト」を 丁寧な、市民にお知らせする事が大 事。怠らないように。	県立図書館との機能統合につしまし ては、県との協議を進めるとともに、 市民の皆様のご意見を参考にしたう えで、令和4年度に作成する基本計 画の中で方針をお示しします。

(6) 参考意見

No.	意見の概要	備考
1	スペースを多く割いて蔵書数が減っ てしまうのは残念なので、引き続き 多くの書籍を用意してもらえたら助 かります。前橋市外の間人ですが、居 住市よりも借りたい本があることが 多くいつも利用させていただいてい ます。ありがとうございます。	匿名でのご意見であり、パブリック コメントに対する市としての回答の 要件を満たしていないため、参考意 見(市の考え方を回答しない意見)と して整理させていただきました。

※とりまとめの都合上、ご意見等の内容は適宜要約しています。